

男女共同参画地域活動パワーアップ事業申込書

平成25年 4月 30日

静岡県知事 川勝 平太様

男女共同参画地域活動パワーアップ事業の実施について、関係書類を添えて申し込みます。

団体の名称 NPO法人 富士市のごみを考える会
団体の所在地 富士市水戸島343-1 サニーハイツ302号室
団体の代表者 役職 理事長 氏名 縣 昌司
団体の連絡先 TEL 0545-63-5697
FAX 0545-63-5697

1 事業の目的・内容

実際に、NPO法人で運営されている他市のリサイクルプラザを見学し、実際の運営の方法や事業内容を学び、運営するにあたり、必要な人材や求められる能力等々を県民に広く知ってもらうのが目的である。

実施方法として、エコづくりの会と、富士市のごみを考える会の会員のほか、広く、環境に関心があり、リサイクル活動に興味のある方々に呼び掛け、先進地である京都市みやこエコロジーセンターを訪問し、実際の運営方法、委託事業の実態を調査研究する。

2 今回申請する事業の事業費及び助成希望額

事業費 787,500円 助成希望額 237,500円

3 事業の区分 (該当すると思われるものに印を付ける。複数回答可)

ア 男女共同参画社会の実現に向けた制度及び慣行の見直し並びに意識の改革を行う事業

イ 男女の人権の尊重及び男女平等の推進に関する教育及び学習の充実を推進する事業

ウ 男女間の暴力、セクシュアル・ハラスメント等の根絶を推進する事業

エ 男女が共に子育てや介護等に主体的に関わることができる環境づくりを推進する事業

オ 男女の健康の保持及び増進を推進する事業

カ 生活上様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境づくりを推進する事業

キ 政策又は方針決定過程への女性の参画の拡大を促進する事業

ク 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) を可能にする環境整備を促進する事業

ケ 就業、起業、地域活動等でチャレンジしようとする女性を支援する事業

コ 国際社会及び地域社会の一員として行う活動への参画を支援する事業

サ まちづくりや観光振興、環境保全、科学技術、防災等暮らしを改善する事業

事業計画書

1 事業の目的（対象者、期待される効果等）

富士市で建設が予定されている新環境クリーンセンターに付帯する施設として、リサイクルプラザ（仮称）が計画されている。その中で、予定地地元の女性たちでつくるエコづくりの会から提案が市に出され、富士市と共に検討中である。

その中で、実際に、NPO法人で運営されている他市のリサイクルプラザを見学し、実際の運営の方法や、事業内容を見学し、自分たちに担えるかを研究し、また、そのようなことに関心のある県民に広く実態を知ってもらう目的がある。

実施方法として、エコづくりの会と、富士市のごみを考える会の会員のほか、広く、環境に関心があり、リサイクル活動に興味のある方々に呼び掛け、先進地である京都市みやこエコロジーセンターを訪問し、実際の運営方法、委託事業の実態を調査研究する。

この事業の結果、リサイクルプラザの運営方法を自ら検討し、何が必要か、どのような能力が求められているのかを知ることで、将来担える人材作りの方向性を見出すことができる。また、先進的なリサイクルプラザの運営において、どのような事業が実際に行われ、県民が評価しているのか、どのような運営方法が効果的なのか等々を知ることで、将来検討されているリサイクルプラザの運営に積極的にいかかわる人材作りに深く寄与することができる。

2 事業の施行者

NPO法人 富士市のごみを考える会

3 事業の内容（事業内容、実施方法、場所、時期、参加予定人数等具体的に記入）

事業内容：

富士市とその近郊の県民に呼び掛け、貸切バスで、京都市みやこエコロジーセンターに行き、実際に、NPO法人で運営されているリサイクルプラザを見学し、実際の運営の方法や、事業内容を見学し、自分たちに担えるかを研究し、また、そのようなことに関心のある県民に広く実態を知ってもらう

実施方法：

事業内容のチラシを作成し、まちづくりセンターや市民活動センター、きらり交流会議などに配布、また、富士ニュースや岳南朝日新聞社などに参加者募集の新聞記事を計さしてもらい、その際、あざれあの補助事業である旨を伝える。

募集人員が決まったら、バスの中で、リサイクルプラザについての事前学習を行う。

京都市みやこエコロジーセンターでは、見学のみではなく、運営体制、事業内容、経営状況等々が調査研究できるような、学習会を設け、皆で、リサイクルプラザの運営に関しての見識を深める。

帰って来てからも、リサイクルプラザを市民が担うために、必要な人材や体制作りなどを、市や県と共に作り上げていく。

場所：京都市伏見区深草池之内町13

時期：平成25年7月4日～7月5日

参加予定人数：40名～50名

4 連携・協働の内容

（連携・協働先、グループ内の協働の状況、企業等の支援、ボランティアの関与状況等を記載）

環境省

静岡県

富士市

富士常葉大学杉山ゼミ

エコづくりの会

きらり交流会議

富士市消費者運動連絡会

富士市STOP温暖化地域協議会

収支予算書

1 収入の部

区 分	予 算 額	算 出 の 基 礎
参加費	500,000円	10,000円×50人
会負担金	50,000円	
県補助金	237,500円	
計	787,500円	

2 支出の部

区 分	予 算 額	算 出 の 基 礎
チラシ代	10,000円	5円 (印刷・紙代) × 2000枚
バス代	262,500円	EXCEL TOURS見積もりから
高速料金	48,000円	
駐車場代	12,000円	
乗務員経費	12,000円	
宿泊代	420,000円	8400円×50人 (夕食なし)
保険・企画代	20,000円	最高1,000万円に加入
先方へのお土産	3,000円	2か所
計	787,500円	

※経費の区分については別表を参考にして記入してください。

団体概要

団体の名称	NPO法人 富士市のごみを考える会		
団体事務局所在地 (連絡先電話番号)	静岡県富士市中丸794		
代表者	役職 理事長 氏名 時田 祐佐		
主たる活動目的	ごみの排出抑制・適正処理に関する学習・普及啓発・実践活動		
団体の役員構成	理事長1名、副理事長1名、会計2名、理事10名、監事2名		
団体の会員数	平成25年4月現在 64人 (男 23人 女 41人)	会員の資格 年会費2000円を払う 会の趣旨に賛同する	
発足年月日	平成16年1月15日 (発足総会等の年月日を記入)		
申請年度年間予算	643,390円 年会費/人 2,000円	他の補助金・助成金の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
活動概要 (主たる事業)	<p>1、ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ リサイクルプラザ先進施設の見学 <p>2、ごみの排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動</p> <p>① 学校環境教育事業、地域環境教育事業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「教員免許更新講習」(富士常葉大学) 富士市におけるごみ・環境問題に対するのNPOの活動状況について ▶ 「ふれあい教養講座」(田子浦まちづくりセンター) もったいない! 家庭ゴミの再利用を考える ▶ 「ごみ減量・適正分別講座」(町内会) 市民のごみ減量・適正排出への意識高揚のための説明会支援 <p>② 外部団体主催の事業への参画・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ひかりの丘まつり、消費連生活展、市民福祉まつり ▶ 静岡県環境森林フェア、富士市環境フェアー等への参加 <p>3、ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種審議会への参画(スマートプラン21推進のための援助、協力) ▶ リユース食器及び自動食器洗浄機の貸出 ▶ 富士市男女共同参画センター利用団体委員会委員 		

別表

(支出の区分、算出の基礎等記入時の参考)

報償費	講師謝礼金
旅費	講師旅費
	打ち合せ旅費
人件費	臨時職員賃金
需用費	事務用文具
	用紙類
	看板代
	印刷製本費
	コピー代
	写真代
	講師食糧費
	材料費
役務費	郵便料金
	電話使用料
	広告料
使用料及び賃借料	会議室使用料
	物品レンタル料
	映画・ビデオ借上料